

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人ローカルネット日本評価支援機構

② 事業者情報

名称: 八斗木保育園	種別: 保育所
代表者氏名: 理事長 福島 巖	定員(利用人数): 60名
所在地: 長崎県雲仙市国見町土黒庚357 Tel 0957-78-3419	

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③ 施設・事業所の特徴的な取組

八斗木保育園は平成8年4月1日より事業を開始。「子どもが幸せな社会の中でいきいき成長していけるように、子どもの最善の利益を追求し、地域福祉の中心的役割を果たす」ことを理念に掲げ、運営を行っている。地域ニーズがある事業はすべて行う姿勢を持って運営を行っている。代表的なものは保育所体験支援事業として子育て支援サークル「カリメロ倶楽部」や「いきいきっこカーニバル」等の行事を通して、保護者や地域との信頼関係の構築をねらいとして取り組んでいる。地域に対して保育園のホールを開放し、希望があれば地域の人々に活用してもらえよう体制を整えている。

応答的保育を実践しており、それぞれの年齢に合った保育環境を整備し、保育士が大声を出したりせず、保育者が計画を決める大人主導の保育計画になったり、生活や活動の中で指示禁止命令をすることなく、子ども一人ひとりが主体的に環境に関わり、自分で発見したり、子ども同士で協力したり、子どもの「つぶやき」から遊びや教材を準備し、遊びが発展するような保育を実践している。

④ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年6月1日(契約日)～ 令和5年3月31日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	4回(平成29年度)

⑤ 総評

◇特に評価の高い点

① 働きやすい職場づくりへの取り組み

職員の意向を受け止め、労使管理がしっかりと行われており、法人独自の「ライフフリー」というストレスチェックを行い、それが安定した職員の就業と定着に繋がっており、取り組みの積み重ねが行われてきたことが窺える。

② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保

感染症対策について、感染症マニュアルを整備し、職員への周知徹底が行われている。感染症発生時の状況は随時玄関に掲示し、保護者の必要な情報源になっている。特にコロナ禍において、子どもがどの位置で食事を行ったかを毎日記録し、コロナ発生時には迅速に対応できるよう配慮されている。

③ 保育実践の振り返り

午前中の活動の中でクラス会議やチーフ会議で振り返りを必ず行っている。すべての職員が閲覧できるように記録を残し、ドキュメンテーションや月案週案マップの作製に活かしている。保育士の自己評価は年2回行い、保育の改善や専門性の向上に繋げている。

◇改善を求められる点

① 経営状況や改善すべき課題に対する職員への周知

理事会等で討議がなされ、決定事項などは職員が参加する職員会議やケース会議の議題項目に追加して職員へ周知を行うことで、運営への更なる理解が促されることに期待したい。

② 運営の透明性の確保

ホームページを活用し、保育の理念や事業計画、事業報告、予算、決算情報を適切に公開しているが、苦情を受け付けた場合もその内容や改善に向けての取り組みを公開し、保護者や地域への運営に対する信頼をより高められるよう今後の取り組みに期待したい。

⑥ 第三者評価結果に対する事業者のコメント(事業所記入欄)

先日は大変お世話になりました。やはり受審すると色々と勉強になりますし、助言頂いた事等、今後の運営に大変役に立ちます。ただ、前回受審した際 A ランクを頂いていた部分の多くが B ランクになっており、怠ることなく、また前回以上に努力してきた部分もあり、結果としては残念に思っております。審査基準が厳しくなったのでしょうか。もしそうであれば公表の際、そのような文言を記載して頂ければ、園としては大変有難いです。また部分的には記されていましたが、より具体的なヒントやアドバイスなど頂ければ、今後活かして行けると思っております。今回の結果を真摯に受け止め、更に努力して参ります。

⑦ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧ 利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

第三者評価結果（共通）

*すべての評価細目（46項目）について、判断基準（a・b・cの段階）に基づいた評価結果を表示する。

*評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p><コメント> 理念・基本方針は、保育所内文書に記載し、園内に掲示している。園のしおり、パンフレット、ホームページ、年度事業計画、毎月発行している園だよりや対外的な文書にも掲載している。職員には職員会議で説明している。職員は理念や基本方針を理解しており、自らが日々の保育の中でどのように実践しているか述べることができる。また、実際の保育場面でも実践されていることを確認できた。保護者には入園時にわかりやすく記載した文書を用いて説明し周知している。また、保護者が常時確認できるよう玄関にも掲示している。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p><コメント> 雲仙市総合計画や、保護者支援サークル（カリメロクラブ）に来た保護者からの情報や福祉施設に勤務している保護者からの情報等で経営環境を把握している。また、県内外の姉妹園や近隣の保育所と連携している。得た情報は、職員会議で職員へ周知し共有を図っている。雲仙市の人口は減少傾向にあり、当園が立地している国見町も人口は減少傾向にある。保育園の経営状況分析に主任保育士も参加しており、結果については3月に園長より説明し、職員へ周知している。コロナ禍であり、地域住民との交流する機会が減少しており、コロナ禍収束後を見据えた今後の取り組みに期待したい。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント> 具体的な課題や問題点については、会議やミーティング等を通じて職員の意見を聴取し、職員の意見を反映するよう工夫している。また、園長は年3回職員個々と面談し、目標達成状況の把握と達成へ向けてアドバイスを行っている。経営状況や改善すべき課題については、年3回開催される理事会で報告し、職員に対しては職員会議で報告し周知を図っている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p><コメント> 令和2年度～令和6年度までの5年間の中・長期計画を策定している。理念や基本方針の実現に向けたビジョンも明確である。①理念や基本方針の実現に向けた目標と展望、②保育内容、組織体制、設備整備、職員体制、人材育成の現状分析、③課題、問題点の解決に向けた内容と取り組み、④時代や地域社会の流れ、⑤保育園の現状と未来、⑥地域の現状（世帯数や人口等の客観的データ）、⑦職員の質の向上ための取り組み、⑧保育内容充実のための取り組み、⑨遊び環境や健康・安全で情緒の安定のための環境充実のための施設整備、⑩地域ニーズの把握と子育て支援への取り組みの10項目に分けて具体的に取る内容を明記している。改善計画に対しては項目ごとに予算立てすることを期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p><コメント> 中・長期計画の各項目に関する単年度の計画を策定している。設備整備、職員研修、保育計画、保育実習生受け入れ計画、健康管理、職員の福利厚生、災害対策等と年齢毎の園児数・職員数・職務分担・定例職員会議の開催頻度等を明記している。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント> 事業計画は、各職員との最終面談を2月に実施し、職員会議で意見集約と次年度への職員意見の把握と事業計画の見直しを行い、3月の理事会を経て策定している。事業計画の職員への周知は、職員会議で説明し、理解と協力を得ている。行事や保育評価、食育等保護者へアンケート調査を実施し、次年度の計画に活かしている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント> 保護者用に分かりやすくした資料を基に、事業計画を説明し理解と協力を得ている。通常は保護者会で説明しているが、コロナ禍であり、地区別の分散型の保育参観の際に事業計画を配布し説明している。行事に関しては、保護者会資料を配布している。また、玄関のボードでも確認できるようにしている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p><コメント> 保育の質の向上に関し指導計画を作成し評価も行っている。毎月、クラス会議において保育内容のPDCAサイクルを確認している。また、職員会議や法人合同リーダー会議で、保育課題等の話し合いを行っている。年に2回、9月と2月に自己評価を行い、振り返りを行っている。園長は9月と2月に職員個々と面談し、指導計画の進捗状況の確認やアドバイスを行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p><コメント> 法人全体で共通の保育評価スケールを作成している。姿勢、声掛け、観察、援助、子どもの姿、食育、子どもの体調、手洗い・当番、立ち位置等、16項目の計47項目を、特に優れている、良い、改善の3段階で職員各自が評価して改善に繋げている。また、勉強会や職員会議、法人リーダー会議を行い、取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を話し合い、園として改善へと繋げている。職員会議の回数も多く、文書化、職員の共有化の取り組みが見て取れる。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント> 経営管理に関する方針は、事業計画にも明記している。園長の役割と責任については、職務分担表に10項目明記しており、職員会議等で説明し、職員に周知し共有を図っている。園長不在時は、主任保育士、副主任保育士の順に職務を代行する体制である。緊急時の対応はフローチャートを作成し、分かりやすく示している。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント> 経理規定を作成し、規定に基づき運営している。管理者向けの研修に積極的に参加し、最新情報を収集している。参加した研修内容を職員会議や勉強会で職員に説明し、周知している。法人又は園内において保育環境の見直しや危機管理等の研修を行い、全体で課題の共有を図っている。虐待防止対策マニュアルに当園独自の早期発見の為にチェックリストを作成し、組織的に対応できる体制を整備している。</p>		

		第三者評価結果
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント> 職員会議や職員面談を活用して日常の保育状況について意見交換し、保育の質の向上に努めている。保育の質を高める観点から外部講師を招く等、積極的に研修を実施している。研修会は毎月実施し、園長も参加している。姉妹園の園長並びに主任保育士と合同でリーダー会議を開催し、情報共有や意見交換を行い、保育の質の向上に取り組んでいる。更に、専門リーダーを設け職員の意見が届きやすいしくみを構築している。職員会議において、研修で学んだ事や情報を伝達講習し、参考資料を配布して職員の質の向上に努めている。外部の研修情報を入手し、職員へ積極的な参加を促し、職員が研修に参加しやすい環境を整えている。更に、子ども主体の保育を目指し応答的保育にも力を入れている。</p>		
13	II-2-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> 契約している社会保険労務士を講師に招き、法人全体で研修を行い、働き方改革等、職員の認識を深めると共に助言を参考に分析している。財務に関しては、顧問税理士に適宜アドバイスを受け、収支状況の把握と分析、問題解決に取り組んでいる。講師を招き法人内事務研修と会計研修を毎年実施している。また、リーダー会議を行い経営改善等の話し合うと共に、年度初めの会議の際には今年度の経営状況を職員に伝え、園児を確保するための対策等話し合い、全体で共有を図っている。職員の意向調査書により園長と面談を行い、職員の長所、短所を踏まえて人間関係の適性を分析し、職員の意向を尊重した配置を検討している。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p><コメント> 園の配置基準に基づき人材を確保し配置しており、看護師も配置している。特別保育事業も行っており、計画に基づき人材確保と育成を行っている。人材確保に関する研修会にも参加している。将来的な人材確保を目指して保育実習生やボランティアの受け入れを行っているが、現在コロナ禍であり受け入れは感染状況等を見極めて判断するようにしている。職員に対し保育士の資格取得支援を行っている。法人内での移動や向学のための3ヵ月等の長期出張も可能である。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p><コメント> 中・長期計画に保育理念や基本方針、保育目標、保育計画、職員の質の向上等を明記し、期待する職員像を明確にしている。就業規則に人事基準を定め、職員に周知している。就業規則は職員が閲覧できるようにしている。また、専門、分野別リーダーを設けることにより、職員が将来の目標設定に繋がられるようにしている。職員処遇の水準について、法人リーダー会議で処遇改善の必要性等を評価・分析している。職員の意向調査を12月に実施し、改善策を検討実施している。施設内研修は年間計画を立案し、毎月実施している。外部研修にも積極的に、計画的に参加させ職員のスキルアップを図っている。インターネット上で法人アンケートを実施し、職員が対面で言えない事や意見等の汲み取りができています。</p>		

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p><コメント> 労務管理に関する責任体制は、就業規則、36協定、職務分担表で明確にしている。職員の意向調査は、年1回面談を実施して把握している。担当部署毎に複数の職員を配置し、全職員が相互に協力し、有給休暇やリフレッシュ休暇を取得しやすい環境づくりに努めている。福利厚生の一環として、ソウェルクラブに入会している。法人合同の食事会やストレスチェックコンセプト等開催している。業者によるストレスチェックも実施している。職員の資格取得への支援も行っている。採用者を紹介した職員への報奨金制度を検討している。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント> 中・長期計画や運営規定に期待する職員像を明記している。独自の保育評価スケールを作成し、16項目の計47項目を、特に優れている、良い、改善の3段階で各自評価して、改善に繋げている。年に1度の面接に加え、必要に応じて面談を行っている。意向調査に個人の目標等を記載している。気になる職員に関しては、その都度言葉かけや面接を行い、意識の確認を図っている。職員会議では常に職員間で意識の共有を図っている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント> 中・長期計画や運営規定に期待する職員像を明示している。研修計画書に基づき研修を実施している。リーダー会議で現在の課題について話し合い、それを基に勉強会や研修会の方向性を考えている。園長も研修会に参加しており、毎年、外部講師を招いて研修も実施している。外部の研修にも、意図的、計画的に参加している。法人内での研修も実施している。新人職員の教育計画が未整備であり、今後、法人で育成プログラムを作成する予定である。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント> 履歴書や資格証明書等で保育士資格を把握している。日本保育協会や県保育協会、雲仙市等より研修会の情報を入手し、積極的に参加するよう職員に呼びかけ、職員一人ひとりの研修の機会を確保している。研修に参加した職員は、勉強会や職員会議を通じて伝達講習を行い、職員間で研修内容の共有を図っている。また、研修内容は回覧し、いつでも全職員が把握できるようにしている。</p>		

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント> 保育実習受け入れ要綱に基づき、実習生等の受け入れや実習指導を行っている。事前にオリエンテーションを行い、主任保育士が基本的な方針を説明している。実習生がクラスへ入るため、子どもには保育士が説明し、保護者には園だよりに掲載し理解と協力を依頼している。実習クラスや実習内容は、実習生の希望に添えるよう配慮している。実習指導者は、計画、実践に対して実習生へ丁寧に助言し、確かな学びに繋がるよう努めている。学校等と密に連携しているが、コロナ禍により来園することが難しい場合は、電話で会話し連携を図っている。実習終了時は、実習生の姿勢や取り組みについて、職員間で実習の振り返りを行い、また、実習生から寄せられた感想等は職員間で共有して次年度へと繋げている。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p><コメント> ホームページに法人、施設の理念や基本方針等を公開している。また、苦情の内容は、園だより等で公表しているが、ホームページでの公表はしていない。第三者評価は定期的に受審し、改善へと繋げている。雲仙市役所にパンフレットや子育て支援に関する資料を置いて入手しやすくしている。より透明性を確保するためにも、苦情を受け付けた場合にその内容や改善に向けての取り組みを公開し、保護者や地域への運営に対する信頼をより高められるよう取り組むことを期待したい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント> 法人共通の経理規定に則り業務を遂行している。会計士が月1回来園しており、アドバイスを受け見直しを行っている。年1回監査を受け、理事会で報告している。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p><コメント> 中・長期計画に、地域との関わり方について明記している。活用できる社会資源や地域の情報を収集し、ボードに掲示して保護者へ伝えている。地域の行事や小学校の運動会、デイサービス事業所への訪問等を行っているが、コロナ禍により地域との交流が減少している。毎年、保護者からトウモロコシ狩りやイチゴ摘みの誘いを受け参加している。気になる子どもに関しては市の子ども支援課と連携を図れるよう関係を築いている。今後、コロナ禍収束を見据え、地域との交流をより拡大する方策を期待したい。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p><コメント> ボランティアや職場体験受け入れに関するマニュアルを整備し、受け入れの意義、受け入れの方針、指導のポイント、担当者等を明記している。地域の小学校と協力し、近隣の小学校の5年生が訪問し、保育園児と交流している。受け入れに際し、事前説明とオリエンテーションを行っている。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><コメント> 第三者委員や相談室の紹介、関係機関を明記した文書を玄関に掲示している。民生委員が年2回来園し地域の情報などを得る。問題が生じた場合は解決に向けて雲仙市保育会や園長会に諮るなど取り組んでいる。園長は学校運営協議会委員として同会議に参加している。幼年消防クラブとして消防団の出初式やパレードを見学している。また、火災予防習慣はハッピーを着て登下園している。虐待に関するマニュアルを整備し、早期発見、対応できるよう園独自のチェックリストを作成している。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
<p><コメント> 子育て支援活動「カリメロ倶楽部」を設置し、計画を立てて実施している。夕涼み会、運動会等で地域との交流を行っている。保育ウイークでは、自由に来園できるようにしていたが、コロナ禍により地域と交流する機会が減少している。町の文化祭や行事に参加し、町づくりに貢献している。一時保育や延長保育も行っている。地域の福祉ニーズの把握や多様な相談に応じる取り組みの継続を期待したい。</p>		

		第三者評価結果
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<コメント> 子育て支援活動「カリメロ倶楽部」を設置し、計画を立てて実施している。夕涼み会、運動会等で地域との交流を行っている。また、保育ウイークでは、自由に来園できるようにしていたが、コロナ過で交流が減少している。町の文化祭や行事に参加し、町づくりに貢献している。一時保育や延長保育も行っている。地域の福祉ニーズの把握や多様な相談に応じる取り組みの継続を期待したい。		子

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<コメント> 理念や園の方針と、子どもを尊重した保育実践、職員の保育理解、環境、子どもへの関わり方に整合性が見て取れた。職員会議や勉強会を定期的を開催し、応答的保育に関する基本姿勢の学習が保育実践にも反映されており、子どもの人権や文化の違い、互いに尊重する心が育まれるようクラス編成や環境設定を適切に行われていることは高く評価できる。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<コメント> 毎年7月に行う会議において、職員がすべてのマニュアルに目を通し、職員参画の下、見直しや子どものプライバシー保護、子どもの権利擁護の確認が積み重ねられている。マニュアルも見やすく、職員の理解に繋がりがやすいものとなっている。環境面は子どものプライバシーが守られる配慮がなされており、安心して生活できる環境を整備している。保育安全マニュアルを園独自で作成し、実際の保育現場への周知徹底が行われていることは高く評価できる。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<コメント> 理念や保育の内容やその他の園情報を紹介した資料を雲仙市所に置き、多くの人が園に関する情報を入手しやすいような取り組みを行っている。園見学を希望する方への対応は主任保育士が随時対応し、丁寧な説明を行っている。入園説明時は親子で来園してもらい、事務的な事柄から保育に関する情報の相互交換を行っている。		

		第三者評価結果
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント> 保育の開始及び保育内容の変更時には、保護者が分かりやすいように園のしおり用いて説明している。その際、特別保育サービスについて記載したプリントも配布して詳しい説明も行っている。保護者からの同意について、重要事項説明書を配布し、同意書を提出するようにしている。今後、特に配慮が必要な保護者等への説明方法をルール化し、適切な説明の仕方や運用を図ることが望まれる。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント> 保育所等の変更にあたり児童要録を必ず引き継ぐことを行っている。保育所の利用が終了した後も当法人が運営する学童クラブを中心として、隣接する八斗木小学校と連携を図り、子どもや保護者がいつでも相談できるように主任保育士が窓口となり、学童クラブの利便性をうまく活用しながら継続性に配慮している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント> 保護者の満足を図るため、年1回定例アンケートを実施している。保護者会等主任と担任が参加し、保護者の満足を把握している。行事等のアンケートも行っているが、いくつかの行事についてまとめた形のアンケートになっており、今後はより保護者の満足度が適宜把握できるよう、行事毎にアンケートを実施することも検討することが望ましい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント> 保育安全マニュアルにより、苦情解決の体制を整備し、職員への周知を徹底している。玄関にご意見箱を設置しており、保護者がすぐに記載できるよう様式も完備している。苦情に対する受付と解決の記録も適切に保管している。保護者等へフィードバックをより確実にを行うため、今後は受け付けた苦情の内容や改善への取り組みをホームページに掲載するなど更なる取り組みに期待したい。</p>		

		第三者評価結果
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p><コメント> 保護者が相談したり意見を言いやすいよう意見箱と様式を玄関の見える場所へ設置している。個人的な相談は複数の相談できるスペースを確保している。苦情や相談の流れを文書化し、保護者へ周知を込めている。今後は苦情があった場合など園のホームページに内容や改善の取り組みを情報として分かりやすく掲載することが望ましい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p><コメント> 相談窓口を設置し、主任が担当している。保護者からの意見について、ご意見箱を設置し、積極的に意見等の把握に努める取り組みを行っている。保育安全マニュアルを作成し、解決へ時間がかかる場合は、玄関掲示や園便りにて保護者へ周知を込めている。過去に保護者からの相談を受け、年長行事の開催日程を変更するなど、保護者の困り感に応じて柔軟に対応した事例も窺えた。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p><コメント> リスクマネジメントへの組織的な取り組みは会議録の内容から見ても、園全体でこれまで積み重ねてきた努力が窺える。ヒヤリハットなどに関し会議の議題に挙げ全職員で確認・把握を徹底している。当園のみならず、世の中で起こっている保育事故や事件を園長参画の下、議題として討議している。予測できないのが子どもであるとの認識の下、危険と思われるものには迅速に対処している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント> 園に感染症マニュアルを整備し、7月に行う会議にてマニュアルの確認と見直しを全職員参画の下で継続的に行っている。日々感染症の予防や対応は看護師が行い、園舎内ではハセッパー水で消毒を行っている。感染症が広がる前に玄関の掲示板を活用し、保護者への情報提供を適切に行っている。コロナ感染症が発生した場合に備え、子どもが食事していた場所を記録に残す取り組みは特筆すべき事項である。</p>		

		第三者評価結果
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p><コメント> 災害対応マニュアルを整備し、月1回避難訓練を行っている。年1回、不審者訓練を行っており、記録からは現状に即してマニュアルの見直しを行っていることが窺える。ヒアリングからも職員への周知を徹底していることが窺え、組織的に取り組んでいる事実が確認できる。避難所として園を開放しており、備蓄の整備状況に関し、今後、園関係者のみならず、広く地域も含めた備蓄の整備に期待したい。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a
<p><コメント> 過去1年間の不審者の侵入はない。保育安全マニュアルを整備し、警察と連携しマニュアルやフローチャートの見直しを行っている。毎年2月に不審者訓練を行い、園内研修を通じて職員へ周知を図っている。不審者侵入時の対応への指導が十分になされている。職員ヒアリングからも職員への周知が十分できていることが確認できた。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
41	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p><コメント> 「応答的保育」を実践している。勉強会やDVDを用いて、保育について学ぶことに重点を置いている。保育士が画一的な保育にならないよう子どものつばやきから汲み取り、保育環境や教材の選定を行い、子ども一人ひとりの発達や状況、興味関心に応じて柔軟に対応できる保育に取り組んでいる。月案やデザインマップ、ドキュメンテーションなど保育現場での実践の様子を記録し職員間で共有する機会を設けている。ヒアリングで職員の言葉からも保育理解の浸透が見られ、日々の保育へしっかりと反映していることが確認できた。</p>		
42	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント> クラス会議で実践の振り返りを行っている。月案と週案、デザインマップ、ドキュメンテーションを作成し、リーダー会議でも確認を行っている。月案では振り返りの課題が次月のねらいにしっかりと反映されていて、標準的な実施方法の積み重ねが確認できた。保護者の意見を反映するため、送迎時に話をしたり、アンケートを通じて意見の収集を行っている。</p>		

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
43	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b
<p><コメント> 個別指導計画の振り返りはクラス会議で行っている。未満児は個別指導計画や個人記録を行っている。また、現在、在園していないが自閉症の子どもや療育を受けている子どもに対して個別指導計画や個人記録を行っている。障害や療育に対する専門機関との連絡体制を整え、個別に対応している。</p>		
44	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p><コメント> 毎月5日にクラス会議やリーダー会議で定期的に指導計画の評価見直しを行っている。週案は毎週土曜日に見直しを行っている。子どものつぶやきや保護者の意向は、毎月発送する個別の便りを通じて保護者の要望等を汲み取りながら計画の見直しを行っている。急な保育内容の変更の場合は園長に報告して行うしくみとなっている。その取り組みにより、月案は前月の課題が次月のねらいへとしっかりと反映されている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
45	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p><コメント> パソコンにシェアソフトを導入し、職員全体で記録を共有できる体制を整えている。自園だけでなく法人が運営する施設間での共有も図られている。外部からは見ることができないよう対策も取っている。実施状況の記録もあり、管理も徹底して行われている。</p>		
46	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p><コメント> 保育安全マニュアルに個人情報の規定を記載し、職員へ周知し管理体制を確立している。記録管理責任者は園長が行っている。記録はキャビネットに保管し、持ち出すことは基本的に禁止している。採用時、職員は個人情報の管理について誓約書に署名し園へ提出している。今後、個人情報の取扱いについて保護者等へ説明できるよう園のしおりや重要事項説明書へ記載するなどして丁寧な説明を行うことが望ましい。</p>		

評価細目の第三者評価結果（保育所）

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<p><コメント> 職員参画の下、全体的な計画を作成している。保育の理念や保育の方針や目標に基づき作成しており、職員へのヒアリングで確認ができたが、今後、会議等の議題として取り上げた際は、見直しを行う過程を示すためにも明確に記録に残すなどして取り組むことが望まれる。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p><コメント> 保育室すべてにおいて、温度計、湿度計が見やすい場所に設置されていた。家具や遊具は移動可能となっており、ねらいの環境に合わせて配置が随時行われている。環境構成は図で記録されていた。食事、睡眠のための心地良い環境を設定している。寝具は1週間で持ち帰りしており、子どもの生活時間帯に合わせて食事時間を幅を持たせる配慮を行い調整していることは高く評価できる。</p>		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p><コメント> 子ども一人ひとりに丁寧に関わる応答的保育を実践している。特に大きな声で話したり禁止言葉を使わないように配慮しており、園内視察の際も保育士と子どもとの関わり方から確認ができた。園長が考える、子どもの在園期間だけではなく、子どもが社会に出た際に人間としての成長を終着点と捉えるという考え方の下で保育実践が行われている点は特筆すべき事項として挙げられる。</p>		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p><コメント> 子どもの各年齢ごとに自分で着替えたり、自分の物が管理できる環境を整備している。保育者による適切な声かけや、次につながる声かけに配慮している。以上児については、年長のこどもが3歳児を助けてあげたり、異年齢の関わりで発達を促せるクラス編成となっている。押入れの小空間を利用し子どもが自由に休息できる場所を設けるなど工夫が窺えた。子どもへの生活習慣が自然と身に付く環境を十分に設定し整備していることが確認できた。</p>		

		第三者評価結果
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
<p><コメント> 実践している保育は、遊びや生活全般を通して自ら考えて行動できるよう物的環境や人的環境が整っている。子どものつぶやきを汲み取り、保育教材や環境構成を用意し、遊びや表現する力が豊かになる配慮が見受けられる。コロナ禍の中でも、地域との関りや社会体験が行える機会を設けていくなど、今後の更なる取り組みに期待したい。</p>		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 保育室は家庭的な雰囲気があり、保育士は子どもに応答的に関わっている。養護に関しては安全に生活できる環境を整備し、加湿器や温度計や湿度計を設置し子ども達が快適に過ごすことができている。家庭との連絡ノートも内容が充実し、保育士間の引継ぎ・連絡も別のメモを用意するなど家庭との連携に配慮している。</p>		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント> 子どもが自由に探索活動が行える環境を整備している。応答的保育を実践しているため大人の無駄な声かけはなく、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。家庭との連携は0歳児と同様、丁寧な記録とやり取りが確認できた。コロナ禍において、給食の着座位置が毎日記録に残しており、コロナ発生時の速やかな対応につながるよう取り組んでいる点は特筆すべき事項として挙げられる。</p>		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 子ども一人ひとりの興味関心に合わせた遊具や教材、環境構成を行っている。鬼ごっこ等の集団遊びや共同制作遊びは年長が中心となり、他の子どもが自主的に参加できるように配慮を行っている。コロナ禍前は「いきいきっこカーニバル」や地域行事に参加し、子ども達の育ちについて地域の方々に伝えることができていた。コロナ禍でも感染状況に応じて規模を縮小して開催したり、コロナ禍収束後を見据えて計画を立案する等、今後の取り組みに期待したい。</p>		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 園舎内は障害児や高齢者の来園なども考慮してバリアフリーにて整備している。障害がある子どもと健全な子どもが共に生活できるよう配慮がなされている。園に看護師を配置し、療育センターと連携を図っており、家庭への支援を含め、クラス会議やリーダー会議、全体会議で受入れの際は話し合いを行った上で保育を行っている。</p>		

		第三者評価結果
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント> 日常的に縦割り保育を行っているためか異年齢の集団でも落ち着いて過ごす姿が子どもから伺うことができる。遅番の保育士と担任の保育士の引継ぎは、保育日誌に子どもの状況等を詳細に書き留め、伝達漏れが無いよう徹底している。家庭的で子どもがゆったりと過ごすことができるよう環境を整備している。早朝から登園し、延長保育の最後まで在園する子どものニーズが出てくることを想定し、夕方の軽食など工夫を持たれることを期待したい。</p>		
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b
<p><コメント> 就学前には、月案や週案に小学校との連携や就学に向けての取り組みを記載している。その計画に基づき保育を進めている。小学校教員との連携は行っているが、行事を通しての交流は学童の子ども達の中では行われているが、コロナ禍の為、小学校の行事に子どもが参加するなどの交流はできなかった。コロナ禍収束後を見据えた今後の取り組みに期待したい。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
<p><コメント> 子どもの健康管理に関する保育安全マニュアルを整備し、毎年7月にマニュアルの見直しを行っている。0, 1歳時は、午睡時の睡眠チェックを必ず行っている。内科検診、身体測定、蟯虫検査、尿検査は保護者へ報告を行っている。子どもの予防接種について掲示板に掲載し、接種忘れなど無いよう保護者へ促している。園便りに「八斗木保健室」の欄を設けて子どもの健康管理等について情報を発信している。当日の子どもの体調等は職員間で連絡メモを共有し周知している。今後、子どもの保健に関する事項を集約した保健計画を整備することを期待したい。</p>		
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b
<p><コメント> 子ども一人ひとりの検診結果はすべて記録し、職員間で共有を凶っている。検診結果は看護師が結果を記入し、各家庭へ通知している。内科検診は年2回、歯科検診、蟯虫検査、尿検査は年1回行っている。3, 4, 5歳児では検診結果を基に保育に取り入れているが、今後、全体の保健計画等にも反映することが望まれる。</p>		
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p><コメント> アレルギーと診断を受けた子どもに対して、「食物アレルギーに関する書類」を渡して主治医と保護者に記入してもらい提出を依頼し、医師の指導の下、適切に対応している。給食やおやつ時は別トレーで配膳を行い、アレルギー該当の時は別部屋で食事をするようにしている。訪問調査当日は、コロナ禍という事もあり、以上児は黙食で食事を行っていた。</p>		

		第三者評価結果
A-1-(4) 食事		
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
<p><コメント> コロナ禍前は、バイキング形式の昼食を行っていたが、現在はランチルールで配膳し、黙食を行っている。食器は陶器を使用し、年齢に合ったものを使用している。子どもが食に関して興味関心を深める目的として、玄関前に掲示を行っている。個人差に応じて量を調整できるようにしている。今後は子どもが食事を黙食という環境の中でも楽しめるような更なる工夫に期待したい。</p>		
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
<p><コメント> ランチルームと調理室はガラスで仕切られており、調理する姿が子どもから見れるようになっている。毎月19日を「食育の日」としており、テーマに沿って子どもへ話をしている。コロナ禍前はバイキング形式で給食を行っていたが、現在は配膳により自分の分量を調整しながら、食事の用意を子ども自らがやっている。残食の調査記録や検食簿を用いて献立や調理の工夫を行っている。感染対策や提供の仕方にも工夫をしながらバイキング形式により、子どもが安心して食事を楽しめるよう、今後の取り組みに期待したい。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p><コメント> 手つなぎノートへの記載は細やかで丁寧なやり取りが見て取れた。月1回、各家庭に保育便りを配布し、成長を共有できるよう取り組んでいる。お迎え時、ドキュメンテーションを掲示し、活動の内容が写真で分かりやすく示されている。コロナ禍により開催を自粛している子どもカフェでは、ざくばらんに子どもの情報を交換できる場として取り組みを行っていた。コロナ禍が収束した際は、以前のような取り組みを再開することに期待したい。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p><コメント> 玄関に個別面談希望届を設置し、保護者がいつでも気軽に相談ができるよう取り組みを行っている。「ハッピータイム」という行事を開催し、子ども達がみんなで身体を軽く動かしたり、バレーボール、お茶会、ヨガなどを通して気晴らしの時間を設けている。日中の行事開催とすることで、保護者などが行事へ参加しやすいよう配慮している。母親のリフレッシュや、保育、育児の悩み相談ができる場の提供への取り組みは高く評価できる。</p>		

		第三者評価結果
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p><コメント> 「虐待リスト」に沿って、早期発見に努めている。日々の子どもの様子や着替え時、受入れ時など、保育士が気がけて観察を行っている。虐待権利侵害の可能性があった場合の情報共有や対応について、職員間で協議し対応する体制を整備しており、マニュアルの見直しは毎年7月に行っている。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント> 日々の保育実践の評価はクラス会議内で行っている。保育士の自己評価は9月と3月、年2回行っており、法人独自の評価様式を使用している。保育理念から子どもの発達、保護者支援、組織性の項目に分かれており、評価しやすい明確な様式となっていた。評価の積み重ねや、継続的に改善する取り組みは高く評価できる。</p>		

事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称： 八斗木保育園
2. 運営主体（法人名等）： 社会福祉法人 相愛会
3. 事業所所在地： 長崎県雲仙市国見町土黒庚 357
4. 事業所の長の氏名（園長等）： 福島 真砂
5. 連絡先
電話： 0957-78-3419（事務室） 78-3450（保育室）
F a x： 0957-78-3492
Eメール： hattogi3450@yahoo.co.jp
ホームページ：
6. 当該事業の開始年月日： 平成 8年 4月 1日
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している同一運営主体の主な福祉サービス事業

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">• 放課後児童健全育成事業• 一時保育事業• 延長保育事業• 病後児保育（自主）事業• 福祉体験事業• 保育士体験事業 | <ul style="list-style-type: none">• 子育て支援（自主事業）• 障害児保育
(対象の児童の受け入れがある場合) |
|--|---|

8. 事業所が大切にしている考え方(事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。)

《保育理念》

子どもが幸せな社会の中でいきいきと成長していけるように、子どもの最善の利益を追求し、地域福祉の中心的役割を果たす。

《基本方針》

- いきいきっ子を育てる、子ども主体の援助保育
- 生きる根っこを育てる（基本的信頼、自立と自律心）
- 考える力を育てる豊富な遊び環境と、子どもが健全・安全で情緒の安定できる環境づくり
- 地域社会のニーズに応える保育システムの充実と子育て支援

9. 現在の職員数（令和4年 12月 1日現在）：

常勤職員数 9人、非常勤職員数 8人（常勤換算 6人）

10. 定員及び現在の利用者：

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者数（人）
0歳児	4	7
1歳児	8	5
2歳児	12	13
3歳児	14	9
4歳児	9	8
5歳児	13	11
計	60	53

(2) 特別保育

	定員（人）	利用者数（人）
延長保育	—	14
障害児保育	—	—
病後児保育	—	—
一時保育	—	1
その他 ()		

11. 現在のサービス提供能力（利用状況）と利用者数

（以下のいずれかに○印をおつけください）

- ① サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。
- ② ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
- ③ サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積（保育園分）：

523.91㎡ 利用者1人あたり 8.45㎡

(2) 園庭面積：

2,179.96㎡ 利用者1人あたり 35.16㎡

(3) 建築（含大改築）後の経過年数：

20年

(4) 保育所の設置形態

- 単独設置の場合：(2 階建)
- 他施設と併設の場合：
併設施設種別：
保育所の使用階数： 1 階部分
- 建築（含大改築）後の経過年数：(15 年)
- 3年以内の大改築計画の有無：(有 ・ (無))

(5) 立地条件など

- ① 交通の便： 多比良 駅から 徒歩、バス、その他（タクシー）で 10 分
バス停 _____ から 徒歩 _____ 分
- ② 近隣の環境（周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など）

ハ斗木小学校が道路を挟んで隣接。県立百花台公園まで2キロ。

13. 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

- (設置している) (委員数 2 人) • 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況（定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等）：

第三者委員に至るまでの苦情は、今のところない。

(3) その他苦情解決に向けての取組み（意見箱の設置、オンブズマンの導入等）についてご記入ください

苦情は小さいうちに解決しようという取組みで、保護者の日頃の悩みなどを相談できるコーナーを設けている。相談者が希望する相談日時や相談に応じる職員を指定する用紙を設け、投函箱に投函してもらうようにしている。

14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル (整備している 整備していない)
(2) 感染症対応マニュアル (整備している 整備していない)
(3) 事故発生対応マニュアル (整備している 整備していない)
(4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

- | | |
|----------------|-----------------------|
| • 虐待防止マニュアル | • 災害時対応マニュアル |
| • アレルギー対応マニュアル | • 保健衛生マニュアル |
| • 衛生管理マニュアル | • 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル |

15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容を3つ以内でお書きください。

①

地域のニーズがある事業はすべて行う姿勢で運営しています。
補助金対象にならない事業であっても、自主事業として行っています。

②

地域向けに保育園のホールを開放し、希望があれば自由に地域の方が使えるような体制をとっています。

評価機関名 特定非営利活動法人
ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	八斗木保育園
-------	--------

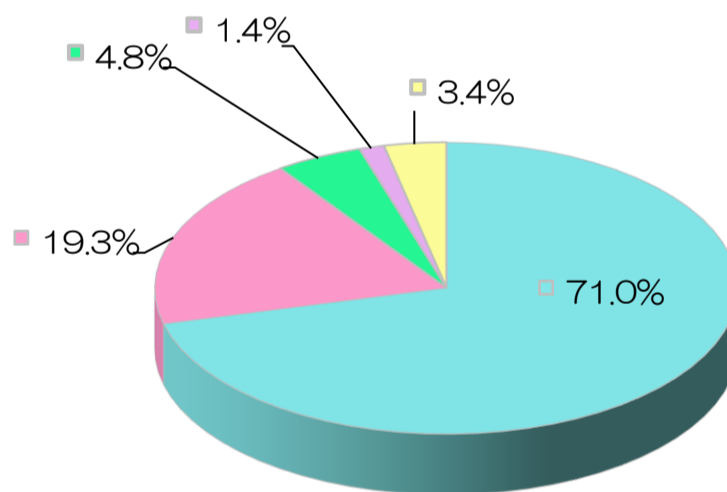
調査の対象・方法	対象：八斗木保育園 利用者保護者 方法：事業所より保護者へ調査表を配布していただき、返信用封筒にて、直接当機関へ返送する方法により実施した。
----------	---

調査実施期間	2022年11月1日～2022年11月30日
--------	------------------------

利用者総数（人）	50
調査対象者数（人）	31
有効回答数（人）	5
回収率（%）	16.1%

アンケート結果平均

はい	103 件	71.0%
どちらともいえない	28 件	19.3%
いいえ	7 件	4.8%
わからない	2 件	1.4%
無回答	5 件	3.4%



総 評	<p>まずは、アンケート対象保護者31人のうち有効回答数が5人のみ16.1%に留まっており、アンケート回収率が低かった点に関し、今後、保護者に協力を求める方法を工夫することが望まれる。</p> <p>アンケート中、「苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。」、「献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。」、「お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。」、「お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。」、「お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。」、「インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。」との問いに対し、すべての保護者が「はい」と回答が挙げた点は高く評価できる。</p> <p>一方、「不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。」、「お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。」との問いに対し、「どちらともいえない」との回答が6割となっており、保護者からの不満や要望への対応方法に関して改善の余地があるものと思われる。</p>
-----	--

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	八斗木保育園	有効回答数	5 人
-------	--------	-------	-----

評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)
全サービス共通項目					
施設の理念・基本方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい	4 件	80.0%
			どちらともいえない	0 件	0.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	1 件	20.0%
			無回答	0 件	0.0%
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい	3 件	60.0%
			どちらともいえない	1 件	20.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	1 件	20.0%
	3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい	3 件	60.0%
			どちらともいえない	1 件	20.0%
いいえ			0 件	0.0%	
わからない			0 件	0.0%	
無回答			1 件	20.0%	
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい	3 件	60.0%
			どちらともいえない	1 件	20.0%
			いいえ	1 件	20.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
プ ヘ ラ の イ 配 バ 慮 シ ー	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい	4 件	80.0%
			どちらともいえない	0 件	0.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	1 件	20.0%
			無回答	0 件	0.0%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい	3 件	60.0%
			どちらともいえない	1 件	20.0%
			いいえ	1 件	20.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい	3 件	60.0%
			どちらともいえない	2 件	40.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
苦 情 方 受 け 等 付 け	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい	5 件	100.0%
			どちらともいえない	0 件	0.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
不 満 や 要 望 へ の 対 応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい	1 件	20.0%
			どちらともいえない	3 件	60.0%
			いいえ	1 件	20.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい	1 件	20.0%
			どちらともいえない	3 件	60.0%
			いいえ	1 件	20.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%

職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい	2件	40.0%
			どちらともいえない	2件	40.0%
			いいえ	1件	20.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい	1件	20.0%
			どちらともいえない	4件	80.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい	4件	80.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	1件	20.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい	4件	80.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	1件	20.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい	3件	60.0%
			どちらともいえない	1件	20.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	1件	20.0%
【過去1年以内にご利用開始】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい	4件	80.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	1件	20.0%
	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい	4件	80.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	1件	20.0%

個別サービス項目

食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい	5件	100.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
施設的环境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい	5件	100.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい	5件	100.0%
			どちらともいえない	0件	0.0%
			いいえ	0件	0.0%
			わからない	0件	0.0%
			無回答	0件	0.0%

保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい		3件	60.0%
			どちらともいえない		2件	40.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		5件	100.0%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		4件	80.0%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		1件	20.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		4件	80.0%
どちらともいえない				1件	20.0%	
いいえ				0件	0.0%	
わからない				0件	0.0%	
無回答				0件	0.0%	
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		4件	80.0%
			どちらともいえない		1件	20.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		3件	60.0%
			どちらともいえない		2件	40.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		4件	80.0%	
		どちらともいえない		1件	20.0%	
		いいえ		0件	0.0%	
		わからない		0件	0.0%	
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		3件	60.0%
			どちらともいえない		2件	40.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		5件	100.0%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
その他自由意見						